

みなさんにエールを送る 福祉のしごと情報誌

YELL

vol.
02
NOVEMBER
2019.11.01

エールは、介護施設・事業所にとってタイムリーで役立つ情報をお届けするとともに、介護の職場で働いている人・働きたい人を応援する情報誌です。

再就職支援講座
久慈



介護事業所合同研修会
釜石



合同就職面談会
大船渡



バスツアー
盛岡エリア南コース



※写真は令和元年度事業

「人にあえる（会える）」
人と人をつなげること
（マッチング）が大好きな
“あえる”ちゃんも
応援しております！

P.2 【特集】介護職希望の外国人スタッフ受け入れの現場とは
導入制度改定後、早期から外国人を採用「株式会社ウェルフェア・ジャパン」

P.4 「介護の職場見学会」魅力発見バスツアー開催

P.5 介護カフェ（介護のしごと悩み相談会）始めました。

P.6 福祉の職場で働く人にYELL

P.8 エールインフォメーション



介護職希望の外国人スタッフ受け入れの現場とは 導入制度改定後、早期から外国人を採用『株式会社ウェルフェア・ジャパン』

進む少子高齢化、学生優位の売り手市場の中、介護業界は全国的に深刻な人材不足に悩まされています。その打開策として、外国人を介護人材として受け入れる取り組みが注目されています。

高校生の進路支援業務から人材開発、介護事業まで幅広く手がける株式会社ウェルフェア・ジャパンでは、早い段階から外国人の採用に着手。現在、ベトナム人2名が同社の介護施設「ペルシモン一関」で働いています。代表取締役の安東光昭さんに、採用のきっかけや働きぶり、今後についてなどお話を伺いました。



ベトナムでの医療研修の様子。医療福祉に興味を持つベトナム人学生も多い。



代表取締役 安東光昭さん



会社概要

株式会社 ウェルフェア・ジャパン

- ◆ 運営事業：通所介護事業、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護事業、居宅介護支援事業
その他グループ会社として日本語学校、紹介事業会社、教育事業会社を持つ株式会社TSWホールディングス(本社 東京)の傘下企業として運営
- ◆ 住所：岩手県一関市東五代11-2
- ◆ 電話：0191-48-4088

* 日本での経験を、後輩たちへ

「ペルシモン一関」で介護スタッフとして活躍するベトナム人のヒュウさん、チャンさんからお話を伺いました。ヒュウさんは「日本は治安が良いし、自分の目でどんな国か見てみたい」との思いから、2015年来日。ベトナムで薬剤師の資格を持ち、看護師も検討していましたが、介護ビザの動きに注目して介護福祉士の道へと進むことを決めました。

チャンさんは、ベトナムで看護師の資格を取得しています。「海外でも学んでみては」という父親からの勧めもあり日本へ。日本語学校に通い、卒業する際に学校の先生から介護の仕事を紹介され、介護福祉士を目指すことにしました。

二人とも来日当初に不安だったのは、言葉が通じなかった。会話は勉強するうちに慣れてきたのですが、お正月の過ごし方や、家族との距離感など、文化・風習の違いを感じました」とチャンさん。ヒュウさんはホームシックになつてしまい、夜になると泣いてしまうことが半年くらい

* 制度改定を想定して、いち早く

介護事業の他、留学生に対する日本語教育告示校「仙台ランゲージスクール」を経営する安東社長ですが、外国人の介護職員採用は、介護業界の人手不足がきっかけになったと語ります。

「2015年に仙台ランゲージスクールが経営傘下に入る前から、今後の人材不足等を懸念していました。この先、国が介護福祉士資格取得を条件にして外国人受け入れを進めるのではという観測から、その制度化を想定しながら準備をしていました」

2017年11月に、介護福祉士の資格を持つ外国人に在留資格を認める改正入管難民法が成立。ちょうどその頃、仙台ランゲージスクールで日本語を学んだベトナム人のドーティヒュウさん(以下・ヒュウさん)と、ルオンティトウオンチャンさん(以下・チャンさん)は、福島県郡山市にある福祉専門学校で介護福祉士の資格を取得し、安東社長が運営するデイ併設型サービス付き高齢者向け住宅「ペルシモン一関」に入社。介護の在留資格を認める改正入管難民法の制度利用で東北第一号となりました。

採用フローは次のとおりです。

外国人を介護福祉士として受け入れられるまでの採用フロー

- ① 母国での募集活動(主にアジア圏)。
- ② 仙台ランゲージスクールにおいて留学生を受け入れ、日本語の学習。
- ③ 専門学校等(岩手県では専修大学北上福祉教育専門学校と連携)へ進学。卒業時に介護福祉士資格取得。
- ④ 出入国在留管理局に在留種別変更申請。許可が下りた後、就労ビザで入職。

続いたそうです。

現在は日本の生活にもだいぶ慣れ、介護スタッフとして利用者さんたちの食事や入浴、排せつの介助に忙しい日々を送っています。利用者さんたちは、私のことを孫のように可愛がってくれます。私も自分の家族だと思って接しています」とチャンさん。ヒュウさんは「一関は自然が豊かで、温かい人が多いので満足しています。休日に施設スタッフさんたちと観光に行くこともあります」と笑顔で話してくれました。

二人を入社当時からよく知っている、介護スタッフの長尾明美さんは、彼女たちの仕事ぶりを次のように語ります。二人とも読み書きが達者で、漢字も書けることに驚きました。仕事には一生懸命に取り組み、教えたことはすぐに覚えます。優秀なのはもちろん、モチベーションの高さが大いだと思います。一年目は風邪をひいてしまうことも多く、心配だったのですが、二年目になると体調を崩すことはほとんどなくなり、たくましくなったと感じています。これからも身体に注意して、自分にとつての幸せを追い求めてもらいたいです」。

今後についてヒュウさんは、「ペルシモン一関では、とても貴重な経験ができたと思っています。それを後輩たちに



「良い経験を積んで後輩たちに伝えたい」と語るヒュウさん



「孫のように接してくれるので嬉しい」と語るチャンさん

* 言葉を超えて、人と人はつながる

安東社長の考える採用ポイントとは、「読む、書く、伝える」といった「コミュニケーション」ができること。そして、「介護職に就くことを強く希望し、将来に対する明確な考えがあること」でした。採用当初は、ヒュウさんに早く環境に馴染んでほしいとの思いから、安東社長宅に一週間ホームステイしてもらい、そこから職場体験へ向かいました。

また、「職場側が違和感なく受け入れられる状況づくりができることも重要であり、利用者さんや同僚が外国人の受け入れについて考える機会を設けたそうです。

実際に働いてみると、言葉のやりとりが完璧ではないほうが、むしろプラスに働くこともあるかもしれないと安東社長は言います。

「外国人にとってわからない言葉(方言など)があると、利用者様から教えていただくという行為を通して、会話の機会が増えることにつながり、いっそうコミュニケーションが深まるんです」。

ヒュウさんもチャンさんも入社から一年以上経ちました。言葉によるコミュニケーションはほぼ問題がなく、二人とも仕事に一生懸命。その姿勢が同僚たちの刺激にもなり、相乗効果をもたらしているそうです。

最後に、今後の課題について伺いました。

「介護の仕事は多くの国ではまだ評価が低く、介護の魅力や、やりがいのある仕事であること、そしてこれから母国でも重要な位置づけとされる職業であることを啓蒙することが大事だと感じています。また、介護職を希望する外国人はアジア圏に多くいるのですが、経済的負担等の問題で苦勞しています。その負担軽減のために、いかにバツアップできるかがカギになると思います」。



ヒュウさん(左)とチャンさん(右)

も伝えていきたい。自分としては、他の施設にも挑戦してみたい。知識と経験をもっと増やせたらと考えています」。チャンさんは「ベトナムではまだ介護施設という概念が浸透しておらず、家族で老人の面倒を見るのが一般的ですが、徐々に施設ができてきていますので、将来はベトナムに帰って日本での経験を後輩たちに伝え、介護スタッフを育てたいです」。

二人の挑戦は、これからも続きます。

施設概要

ペルシモン一関

- ◆ 設立：2017年4月
- ◆ 施設：デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅
- ◆ 住所：岩手県一関市石畑6-10
- ◆ 電話：0191-48-3960



「介護の職場見学会」

魅力発見バスツアー開催



結愛サービス公社バス見学の様子

2019年4月からの岩手県雇用失業情勢では新規求職者数は減少していましたが、7月から若干増加の傾向になったものの依然として職種問わず人材確保は深刻な課題となっております。

岩手県福祉人材センターでは介護の魅力発信として、昨年度から「介護の職場見学会 魅力発見バスツアー」を実施しております。

介護施設の見学を実施し、実際に仕事の現場や職員による説明の機会を通して、介護の仕事への理解を深めその魅力を感じてもらうことで、就労へつなげることを目的として開催しています。

対象者は介護の仕事に関心のある方、就労を希望している一般の方（学生は高校生を除く）、及び介護入門研修の受講予定者としています。

見学先は見学を希望する方の受け入れに協力的であるなど、人材育成に積極的な介護事業所とし年間2回の実施を予定しています。

今年度の見学先は、盛岡エリア南コース9月30日（月）①社会福祉法人いわて共同福祉会特別養護老人ホームはなみずき②社会福祉法人岩手和敬会特別養護老人ホーム浅岸和敬荘（見学会当日は22名の方が参加し盛会裏に終了しました）、盛岡・滝沢エリア北コース11月26日（火）①社会福祉法人麗沢会経費老人ホームケアガーデン高松公園②医療法人社団松誠会介護老人保健施設たきざわで実施します。

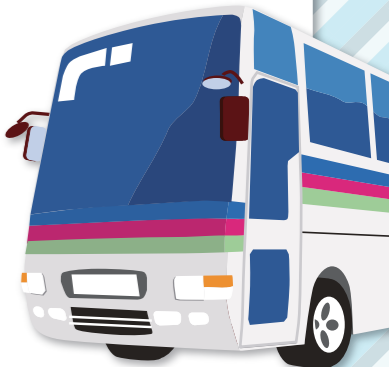
見学終了後、参加者との情報交換会・質疑応答を実施し、参加者の意見を聞くことで介護への不安や要望を整理して、まとめた意見を見学先施設に情報提供し、求人票の作成や採用時の参考にさせていただいております。また、参加者にはしごと体験について紹介し、見学後更に介護の理解を深め就労につなげる支援を継続しています。



バスツアー終了後の意見交換会の様子



「社会福祉法人いっつ星会」施設紹介の様子



【平成30年度実績】		エリア	実施日	見学施設	参加人数
二戸コース	10月5日	盛岡コース	7月11日	社会福祉法人いっつ星会 株式会社結愛サービス公社	16名
				社会福祉法人紫波会 医療法人社団帰厚堂	12名



「魅力発見バスツアー」は職場選びのツアーですが、我々にとっては魅力的な方を連れてきてくれるツアーです。求人情報だけに頼らず「一期一会」の機会にぜひ参加していただきたいです。



《平成30年度見学受入施設》
社会福祉法人いっつ星会
採用部 松葉 慎哉氏



いっつ星会では、より幅広く人材を集めるため、積極的に県社協福祉人材センター様の取組に参加しています。「面接、就職は一期一会」とも申します。会社が欲しい時に欲しい人材が現れることはまれです。キャリアのある人材が現れてもタイミング次第では採用に至らないこともあります。介護現場は製造ラインを作っている訳ではないからです。就職を目指す方も安心して働くことができ、自分の力や魅力を発揮できる場所を探していると思います。

介護カフェ (介護のしごと悩み相談会) 始めました。



団塊の世代が全員75歳以上となる2025年に向けて、我が国の高齢者人口は急速に増加すると見込まれています。第7期介護保険事業計画の介護サービス見込み量に基づいて都道府県が推計した介護人材の需要をみると、2025年度末には全国で約245万人の介護人材が必要と推測されています。

岩手県福祉人材センターでは、介護人材のすそ野の拡大を進め多様な人材の確保や、参入拡大を図る取組としてさまざまな事業を実施していますが、昨年度県央エリアで試験的に開催した介護カフェが好評だったことから、今年度は岩手県内7エリアで「介護カフェ（介護のしごと悩み相談会）」の開催を計画、実施しています。

定員を5名とした少人数での開催で、介護の仕事に興味のある方を主な対象に、介護職への転職や再就職をするうえでの不安や悩み等を話す機会を提供し、不安の軽減を図り、求人に関する情報提供等、再就職に向けた支援を行うことを目的としています。

今年度第1回目の「介護カフェ（介護のしごと悩み相談会）～はじめの一步」が、令和元年5月27日（月）に大船渡市Y・Sセンターを会場に開催されました。介護業界での就労経験のない方など、4名の方にご参加いただき、又、アドバイザーとして、市内の介護施設で働く介護職員の方にも参加していただきました。お茶を飲みながら和やかな雰囲気の中で、それぞれの思いや不安などを自由に話していただきました。

アドバイザーの社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 介護職員 松澤 修さんは、以前は介護職とは無関係の仕事をしていました。ご自身が、介護の世界に飛んだきっかけや当時の思い、現在働く上で大切にしていることなどを話してください、実感のこもった言葉に参加者の皆さんは関心を持って耳を傾けていました。

福祉人材センターからは、施設ごとの働き方の違いや介護の資格取得方法及び求人動向等を情報提供させていただきました。

参加者の方からは、「介護の仕事に就きたいと思っても、年齢のことも不安がいっぱいだったが、同じような思いの方が他にもいて安心した」「今すぐの転職は無理だが、初任者研修を取得して自分の可能性を広げたい」など、前向きな感想が寄せられました。

介護カフェは今年度、5月から2月まで7エリアで8回開催します。



福祉の現場で働く人にYELL

福祉・介護の仕事に携わる人材の確保が難しくなっている中、介護の職場と求職者との橋渡し役を担っているのが福祉人材センターのキャリア支援員です。求職者に対し、必要に応じて、応募の前に施設見学・職場体験の機会をつくる等、きめ細かな支援を行っています。キャリア支援員が関わり、介護の職場に就職した方や異業種から転職した方がたくさんいます。このコーナーでは希望がなくなって今いきいきと働いている方を紹介します。



社会福祉法人 陽風会
特別養護老人ホーム 仙人の里(釜石市)
介護福祉士 佐々木 政徳さん
(令和1年6月採用)

福祉・介護の仕事を選んだ理由 (きっかけ、地元就職の理由など)

母親が病気で入院し半月ほど病院に寝泊まりしながら看病をしたのが介護の仕事をするきっかけでした。一度は介護の仕事から離れ他職種の仕事をしていたのですが、少しでも自分なりに人の役に立てたなという強い思いがあり、福祉人材センターの方と施設見学に行き、面談を行い、再び介護、福祉の現場で働くことができました。



右から佐々木さん、同僚の方

佐々木さんから初めてご相談をいただいたのは平成31年3月でした。ほかのお仕事をなさっておられ、数年ほどブランクがおりとのことでした。その後、一緒に施設見学をさせていただきながらご自身の将来の方向性や介護に対する考え方などをお聞きすることができました。介護職復帰に向け施設の雰囲気や求人内容など、ご自身に納得していただける支援を心掛けました。施設見学ののち応募先での採用となりました。

仕事の内容は？

食事、入浴、排せつなど利用者様の日常生活のサポートさせていただいています。

日々心掛けていること

利用者様にケガ等がなく、安心感を与えられる落ち着いた声掛け、援助ができるように心掛けています。

今後の目標を教えてください

介護技術、福祉も日々、新しく変化しています。新しい知識を取り入れ、日々、勉強していきたいと思っています。職員の皆さんの声に耳を傾け、アドバイスをいただきながら、利用者様の生活の質の向上に貢献できればと思います。



有限会社介護施設あお空
あお空グループホーム赤前(宮古市)
介護員 山崎 ゆかりさん
(平成31年1月採用)

福祉・介護の仕事を選んだ理由 (きっかけ、地元就職の理由など)

福祉関係の仕事は、以前から興味がありました。求職活動中に人材センターの就職面談会に参加したのがきっかけで、今の職場に出会いました。未経験の私に管理者をはじめ職員の皆さんにとても優しく指導していただいています。また、利用者様のすてきな笑顔にいつも元気をもらいながら、楽しく仕事をさせていただいています。

仕事の内容は？

見学させていただいたグループホームに勤務しています。利用者様の食事配膳、入浴介助、排せつ介助、レク活動や清掃、夜勤にも入っています。

平成30年、宮古での小規模介護事業所合同面談会に参加し人材センターブースへ相談に来たのが最初でした。これまで営業職や製造業に従事してきましたが、介護の仕事にも興味があり面談会に参加したとのことです。その後、同行施設見学を経て見学先のグループホームに応募し採用。子育てしながら初めての仕事ですが、家族の理解や周りの協力もあり、資格取得を目指し笑顔を決やらず頑張っています。



日々心掛けていること

元気に明るく笑顔でいることです。利用者様とのコミュニケーションを大切にし、一日を安心して過ごせるよう心掛けています。

今後の目標を教えてください

スキルアップを重ね、将来はケアマネジャーの資格を取得したいと考えています。介護技術や知識を身に付け、もっと利用者様に寄り添えるように頑張ります。

施設からのコメント



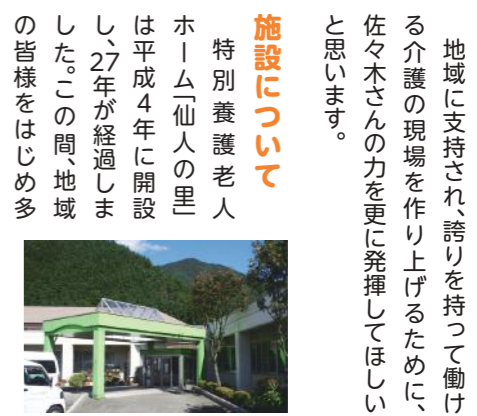
施設長 高田健二さん

佐々木さんについて

面接のときにおとなしいけれど、芯はしっかりしている方との印象を持ちましたが、そのとおり介護部門の会議でも意見を求められるとしっかり発言します。仕事ぶりは極めてまじめです。これまでの経験を生かし前職場と当施設業務との違いを確認しながら業務を行っています。

施設について

特別養護老人ホーム「仙人の里」は平成4年に開設し、27年が経過しました。この間、地域の皆様をはじめ多くの方々に支えていただき、地域福祉の拠点として、地域に愛され信頼される施設に育ってきたと思います。当法人の基本理念は、「高年齢の福祉に努め、社会福祉の向上により地域社会に貢献し、市民の期待に応える」としており、その実現のため、職員一同、一丸となり地域福祉の向上に取り組みしているとこです。



担当キャリア支援員よりメッセージ

沿岸(釜石)担当キャリア支援員 山口 睦夫

久しぶりにお会いした佐々木さん、以前「ご相談をいただいたときに柔らかな表情と穏やかな雰囲気、笑顔とともに安心してお話を伺うことができました。初めてお会いした時から経験に富み、介護に関する知識があり、「自身の考えをきちんとお持ちの方」という印象でしたが、現在も向上心が高く仕事に対して真摯に向き合う姿勢は変わっておりませんでした。今後の更なるご活躍を心から応援させていただきます。

施設からのコメント



管理者 赤瀬 芳子さん

山崎さんについて

山崎さんは平成31年1月に入社されました。介護経験や資格はありませんでしたが、面接では「この仕事がやりたい」との気持ちを強く感じました。介護福祉士やケアマネジャーの資格取得を目指したいとはっきりと目標を話されました。また、高齢者の方とお話しをするのは大好きとのことでした。仕事に就いてからは、分からないことはすぐ聞き、利用者様に対しても思いやりと優しさで接しています。現在、資格取得にも取り組んでおり、5年後にはケアマネジャーになり利用者様に寄り添い、信頼されるケアマネジャーになれると確信しております。今後、さまざまな場面で活躍できるよう、スタッフ一同サポートしていききたいと思います。

施設について

あお空グループホーム赤前は、平成22年12月に開所しました。震災後の復旧・整備が進み周辺に保育園、県立工業高校などがある森林や畑に囲まれた住宅地に立地しています。震災後は毎月、避難訓練を実施し災害対策に万全を期しています。地域との交流にも力を入れ、保育園、小学校との交流、ボランティアの歌や踊りの際には近所の方々も訪れ、楽しい時間を過ごしていただいております。



担当キャリア支援員よりメッセージ

沿岸(宮古)担当キャリア支援員 館岡 毅晴

面談会の人材センターブースで、「この仕事が見たい」「将来はケアマネの資格を取得出来るよう頑張りたい」と話され、介護職への強い意欲や積極性が伝わってきました。また、高齢者の方との話しも全く苦にならないとのこと、営業職での経験も活かせると感じました。その後、面談会参加事業所のグループホームへ同行見学を実施し、応募採用されました。現在は、夜勤にも入って楽しく仕事をしていると笑顔で話してくれました。3人の子育てをしながら新たな職場でのチャレンジですが、今後の目標としている資格取得を心より応援しています。



YELL インフォメーション

介護職員実務者研修通信課程受講者募集のお知らせ

「介護のプロ」として活躍できる介護福祉士の資格取得には、平成29年1月の国家試験より3年の実務経験に加え、450時間の実務者研修の受講が必須となりました。

岩手県福祉人材センターでは、全国社会福祉協議会とともに、施設・事業所における介護福祉士の資格取得の取組を促進し、質の高い介護サービスを安定的に提供していくことと、基本的な介護サービス提供能力の習得を目的に、平成28年度から「介護職員実務者研修通信課程」を実施しており、現在令和2年度の受講生を募集中です。

4月からの自宅での通信学習とともに、8月から10月には盛岡市内でのスクーリング(医療的ケア演習)(介護過程Ⅲ)があり、現場で求められる応用力がしっかり身につく講習内容になっています。

※保有資格によって受講科目数、受講料が異なります。

申込締切りは2月28日(金)ですが、定員に達し次第締め切ります。

受講案内を岩手県社会福祉協議会ホームページ又は、中央福祉学院ホームページよりダウンロードの上、必要書類を郵送してください。

※介護福祉士実務者研修受講資金の貸付対象研修です。



お申込み・お問合せ先

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 福祉人材研修部
〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3
TEL: 019-639-8075 FAX: 019-637-9612
ホームページ <http://www.iwate-shakyo.or.jp/>

働きながら介護福祉士資格の取得を目指す人を支援します。

「介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度」とは修学資金の貸付けを行い、資格取得を学費の面からサポートし質の高い介護福祉士を養成することを目的とする国の制度です。

20万円(授業料・実習費・受験手数料・交通費等)を無利子で貸付けることができ、岩手県内で介護福祉士として介護・相談援助等の業務に2年間従事したときは、貸付金の返還が全額免除されます。ただし貸付けには審査がありますので、お断りする場合や希望額どおりの貸付額に満たない場合もあります。詳細は下記にお問合せください。

貸付けに関するお問合せ先

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部
TEL: 019-601-7022



求人・求職情報総合サイト「福祉のお仕事」では、インターネットを介して事業所から求人申請ができます。詳しくは、下記までお問合せください。

福祉の求人・求職は岩手県福祉人材センターへ
社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会
岩手県福祉人材センター

岩手県盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手2F
TEL.019-637-4522 FAX.019-637-9612
E-Mail fukushijinzei-1@iwate-shakyo.or.jp

